腹腔鏡下胆のう摘出術　入院診療計画書（患者様用）

患者氏名　　様　　病室:　　号　　特別な栄養管理の必要性 □ 有 □ 無

病　名	
症　状	
手　術	腹腔鏡下胆のう摘出術
推定入院期間	6日間

主治医:　　在宅復帰支援担当者名:

看護師:　　在宅復帰支援計画:必要時、立案いたします

*この入院診療計画書について、医師・看護師から説明を受け、ご理解されましたら、署名をお願いします。

患者署名:

記入者（続柄）:

*本人記載が困難な場合”記入者”の欄の記載をお願いします

月日						
暦日	手術前日	手術当日	術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目
達成目標	1. 手術の概要、入院中のスケジュールが理解できる 2. 手術前の不安や疑問を伝えることができ、手術に向けて心身ともに準備が整う 3. 疾患や手術に対して理解できる	1. 手術後の全身状態が安定している 2. 痛みがある時に伝えることができる 3. 創部からの出血がない	1. 病棟内を歩行できる 2. 痛みがある時に伝えることができる 3. 創部に発赤・腫脹がない 4. 体温が38.0℃以下である 5. 食事を開始できる 6. お腹の張りや吐き気、腹痛がない	1. 病棟内を歩行できる 2. 痛みがある時に伝えることができる 3. 創部に発赤・腫脹がない 4. 体温が38.0℃以下である 5. 食事を開始できる 6. お腹の張りや吐き気がなく、排ガスがある	1. 痛みがある時に伝えることができる 2. 体温が38.0℃以下で、創部の発赤・腫張がない 3. 食事摂取方法について理解できる 4. お腹の張りや吐き気がなく、排ガスがある	【退院基準】 1. 創部に発赤・腫脹がない 2. 食事摂取方法について理解ができる 3. 排便・排ガスがある
治　療	○飲んでいるお薬がありましたら看護師までお知らせください ○入院後:臍の処置を行います ○お昼から:下剤を内服をします 	〈術前〉 ○指示の薬の内服 ○午前中より点滴を行います（左上肢） ○手術室に行く前に術衣に着替えます ○弾性ストッキングをはきます 手術室へ歩行か車椅子で入室します 〈術後〉 ○手術室より尿管が留置されています ○深部静脈血栓症予防のため両足に血栓予防する機械を装着しています ○病室で酸素マスク、心電図モニター、血圧計を装着します	○医師の許可が出たら酸素マスクや心電図モニター、血圧計を除去します ○血栓を予防する機械と弾性ストッキングを外します ○尿管を抜去します ○点滴は2本あります（10時間） （食事摂取量に応じて点滴終了となります）			○創部の異常がなければ、医師にて創部の抜鉤を行います ○次回外来日のお知らせをします
検　査	○身長・体重の測定をします		○朝に採血があります ○午前中に病室で腹部のX線撮影があります		○朝に採血があります	
看護計画 食　事	○夕食まで食事があります（脂肪制限食） ○飲水は手術当日の朝9時まで可能です	○朝9時以降より絶飲食です （内服は6時頃に、医師の許可がでた薬剤のみを飲んでください）	○医師の指示に応じて、朝から飲水・食事（脂肪制限食）を開始します			
看護計画 活　動	○病院内歩行可 （行き先は看護師に教えてください）	〈術前〉○病棟内歩行可 〈術後〉○ベッド上安静	○病棟内歩行可	○病院内歩行可	○病院内歩行可	
看護計画 清　潔	○入浴可 ○臍の処置を行います ○臍の処置後入浴してください		○清拭（看護師が手伝います） ○病衣、腹帯の交換	○シャワー浴が可能です。	○清拭（看護師が手伝います）	
指　導 説　明	○入院時のオリエンテーションを行います ○主治医から手術・治療の説明があります （入院診療計画書、手術・麻酔・輸血の同意書） ○手術室の看護師の訪問があります ○手術のパンフレットを使用して手術の注意点について説明します ○看護師が手術の必要物品の確認をします ○各種同意書の提出をお願いします	〈術後〉 ○痛みが強いときは我慢せずに教えてください ○深部静脈血栓予防のために、ベッド上で足を曲げたり伸ばしたり、足首を動かしてください （ご自分でできないときは看護師が手伝います）	○少しずつ体を動かしてください ○看護師が付き添いますので、少しずつ歩いてください ○痛みが強いときは我慢せずに教えてください	○痛みが強いときは我慢せずに教えてください ○シャワー浴初回時は創部の洗浄方法などについて説明をいたします	○痛みが強いときは我慢せずに教えてください ○傷口のつっぱりや気になる症状がありましたら医師に相談してください	○痛みが強いときは我慢せずに教えてください ○看護師が退院指導を行います
観　察	○痛みや吐き気など気になることは遠慮なくお知らせください ○入院時に栄養評価を行い、必要な方には栄養指導を計画します 	〈術前〉 ○午前中に検温に伺います 〈術後〉 ○看護師が以下のことを確認します ・血圧、体温 ・創部の発赤や腫張 ・痛みの程度 ・お腹の音やお腹の張り ・息苦しさや肺の音 ・両足の皮膚の色、痛み、しびれ感むくみの有無	○看護師が以下のことを観察します（6・10・20時） ・血圧・体温 ・創部の発赤や腫張 ・痛みの程度 ・お腹の音やお腹の張り ・息苦しさや肺の音 ○最初にベッドから離れるときは看護師が付き添います ○歩行時にめまい、ふらつき、冷や汗、胸部痛、気分不良、息苦しさがないかお尋ねします	○看護師が以下のことを観察します（6・10・20時） ・血圧・体温 ・創部の発赤や腫張 ・痛みの程度 ・お腹の音やお腹の張り ・息苦しさや肺の音	○看護師が以下のことを観察します（10時） ・体温 ・創部の発赤や腫張 ・痛みの程度 ・お腹の音やお腹の張り ・食事の摂取状況や摂取後の腹痛や吐き気などの観察	

注1）入院後の検査・治療・看護などは大体このスケジュール表通りに行われることになります。ただし、年齢や合併症の有無、その他の理由で個人差が出てきますので予定通りにならないことがあります。
ご自分のペースに合わせ、この予定表を目安に、主治医・担当医・主治看護師などと相談しながら検査や治療を受けられてください。

注2）入院期間については、現時点で予想されるものです。

伊万里有田共立病院
2019年8月作成